

愛知学院大学短期大学部歯科衛生学科 進級・卒業要件および取得学位

進級・登院（臨床実習）及び卒業要件一覧表（講義及び実習）

○進級判定は1学年学年末に行われます。2学年に進級するためには、1学年において履修すべき全科目（講義及び実習）に合格していなければなりません。

○登院判定は2学年秋学期前半期終了後に行われます。登院許可を得るためには、2学年春学期において履修すべき全科目（講義及び実習）に合格し、秋学期前半に行われる臨床予備実習に合格していなければなりません。

○規定の科目数を超える不合格科目のある者、または実習の不合格科目のある者は、進級不可となり留年となります。

○出席日数不足のため「失格」となった科目は成績評価を行わないため、「失格」科目が1科目でもあれば進級不可となり留年となります。

2年生への進級要件

2年生への進級要件は1年生で次の要件を満たすこと。

	2011年度以降入学生対象	
基礎分野科目	7科目	10単位
専門基礎分野科目	12科目	18単位
専門分野科目	10科目	12単位
選択必修分野科目	—	—

登院及び3年生への進級要件

登院及び3年生への進級要件は2年生で次の要件を満たすこと。

【登院要件】

	2011年度以降入学生対象	
基礎分野科目	—	—
専門基礎分野科目	3科目	4単位
専門分野科目	13科目	29単位
臨床予備実習	1科目	3単位
選択必修分野科目	1科目	1単位

【3年生への進級要件（2年次終了時）】

	2011年度以降入学生対象		
基礎分野科目	—	—	
専門基礎分野科目	3科目	4単位	
専門分野	科目	13科目	29単位
	予備実習	1科目	3単位
	臨床実習	1科目	8単位
選択必修分野科目	1科目	1単位	

卒業要件

①次に必要な単位を満たすこと。

②卒業試験に合格すること。

ただし、3年生の臨床実習を終了しなかった者は、卒業試験の受験資格を与えない。

卒業の要件を満たさない者には、国家試験の受験資格を与えない。

	2011年度以降入学生対象
基礎分野科目	10単位必修
専門基礎分野科目	22単位必修
専門分野科目	64単位必修 (臨床実習20単位を含む)
選択必修分野科目	7単位以上必修
卒業研究	2単位必修
合計	105単位以上

学位の授与

短期大学士（歯科衛生）

試験の種類

試験には下記のような種類があります。ただし、科目によっては授業時間中に随時期間外試験を行うことがあります。

試験の種類	試験期間・実施要領
春学期試験週間	春学期授業終了後1週間実施予定です。
秋学期試験週間	秋学期授業終了後1週間実施予定です。
期間外試験	上記の春学期・秋学期試験週間以外に試験を実施することがあります。
レポート試験	授業科目のうちで、試験にかわるレポートの提出を求められることがあります。課題提出期限・提出場所等は、先生の指示に従ってください。
追試験	病気等正当な理由により、試験週間中やむをえず受験できなかった場合、その理由を明らかにする証明書を添えて願い出た者に対して実施します。
再試験	当該学期の受験科目が不合格（D判定）であったもののうち、再試験願により願い出た者に対して実施します。
卒業試験	〔3年生〕3回実施します。

成績評価基準

評価	ポイント	評価	100点満点での 得点範囲	評価基準
AA	4	秀（合格）	90点以上	科目内容を修得し、極めて優秀な成績を修めた者
A	3	優（合格）	89点から80点	科目内容を修得し、優れた成績を修めた者
B	2	良（合格）	79点から70点	科目内容を修得し、良好な成績を修めた者
C	1	可（合格）	69点から60点	科目内容を修得したと認められた者
D	0	不合格	59点から30点	科目内容を修得したとは認められない者
E	0		29点以下	科目内容を修得したとは認められず、修得には再度の履修が必要である者（再試験受験資格無）
K	0		試験をうけていない者	
S	0		科目開講回数の3分の1を超えて欠席し、失格となった者	

部門	分野	授業科目の名称	単位	必修	選択	開講基準年次及び授業期間			備考
						1年	2年	3年	
						半期	半期	半期	
基礎分野科目	科学的思考の基盤	人間と生物	2	○		○			10単位必修
		生活と化学	2	○		○			
	人間と社会生活の理解	人と宗教	1	○		○			
		学習とその支援	1	○		○			
		人の行動と心理	2	○		○			
	外国語	健康の科学	1	○		○			
英語会話		1	○		○				
専門基礎分野科目	人体(歯と口腔を除く)の構造と機能	人体の構造	1	○		○			22単位必修
		細胞の構造と働き	1	○		○			
		人体の機能	1	○		○			
		人体の分子的基盤	1	○		○			
	歯・口腔の機能と構造	歯と口腔の構造	2	○		○			
		歯と口腔の機能	1	○		○			
		歯と口腔の分子的基盤	2	○		○			
	病気の成り立ちと回復の促進	人体と口腔の病因病態診断	2	○		○			
		人体と口腔の感染と免疫	2	○		○			
		人体と歯科の薬物	2	○		○			
	歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み	健康とその増進	1	○		○			
		口腔の健康とその増進1	2	○		○			
		口腔の健康とその増進2	1	○			○		
社会制度と歯科・歯科と歴史		1	○			○			
		歯科と統計手法	2	○			○		
専門分野科目	歯科衛生士論	歯科衛生士論	2	○		○			64単位必修
	臨床歯科	臨床歯科総論	1	○		○			
		硬組織疾患と対応	1	○		○			
		歯髄疾患と対応	1	○		○			
		歯周疾患と対応	1	○			○		
		歯の欠損と対応	1	○			○		
		歯冠の欠損と対応	1	○			○		
		口腔の外科疾患と対応	1	○			○		
		歯列の不正と対応	1	○			○		
		小児と歯科	1	○			○		
		歯科と放射線	1	○			○		
		高齢者・障害者と歯科	1	○			○		
		歯科と材料	1	○		○			
	歯科英語	2	○			○			
	歯科臨床英語会話	1	○			○			
	歯科衛生士専門科目	歯科予防処置論	2	○		○(春・秋)			
		歯科予防処置論実習	6	○		1(春)~2(春)			
		歯科保健指導論	1	○		○			
		歯科保健指導論実習	4	○		1(春)~2(春)			
		栄養支援論	1	○		○			
		栄養支援論実習	1	○		○			
		歯科診療補助論	1	○		○			
	歯科診療補助論実習	8	○		1(春)~2(秋)				
臨床実習	臨床予備実習	3	○			○			
	臨床実習1(臨地実習を含む)	8	○			○			
	臨床実習2(臨地実習を含む)	12	○				○(春・秋)		

部門	分野	授業科目の名称	単位	必修	選択	開講基準年次及び授業期間			備考
						1年	2年	3年	
						半期	半期	半期	
選択必修分野科目	世界の人々の歯・口腔の健康と増進	1		○			○	「臨床コミュニケーション論」「歯科医療管理学」「口腔保健特論演習1」「口腔保健特論演習2」を含む7単位以上選択修得	
	情報処理論	2		○			○		
	スポーツ科学	1		○	○				
	ホームヘルプサービス	2		○		2(秋)～3(秋)			
	実用英語	2		○			○		
	看護の技術	1		○			○		
	臨床コミュニケーション論	1	○			○			
	歯科医療管理学	1	○				○		
	口腔保健特論演習1	2	○				○		
	口腔保健特論演習2	2	○				○		
	医学概論	1		○			○		
	先端歯科医療学	1		○			○		
卒業研究	卒業研究	2	○				○(春・秋)	2単位必修	